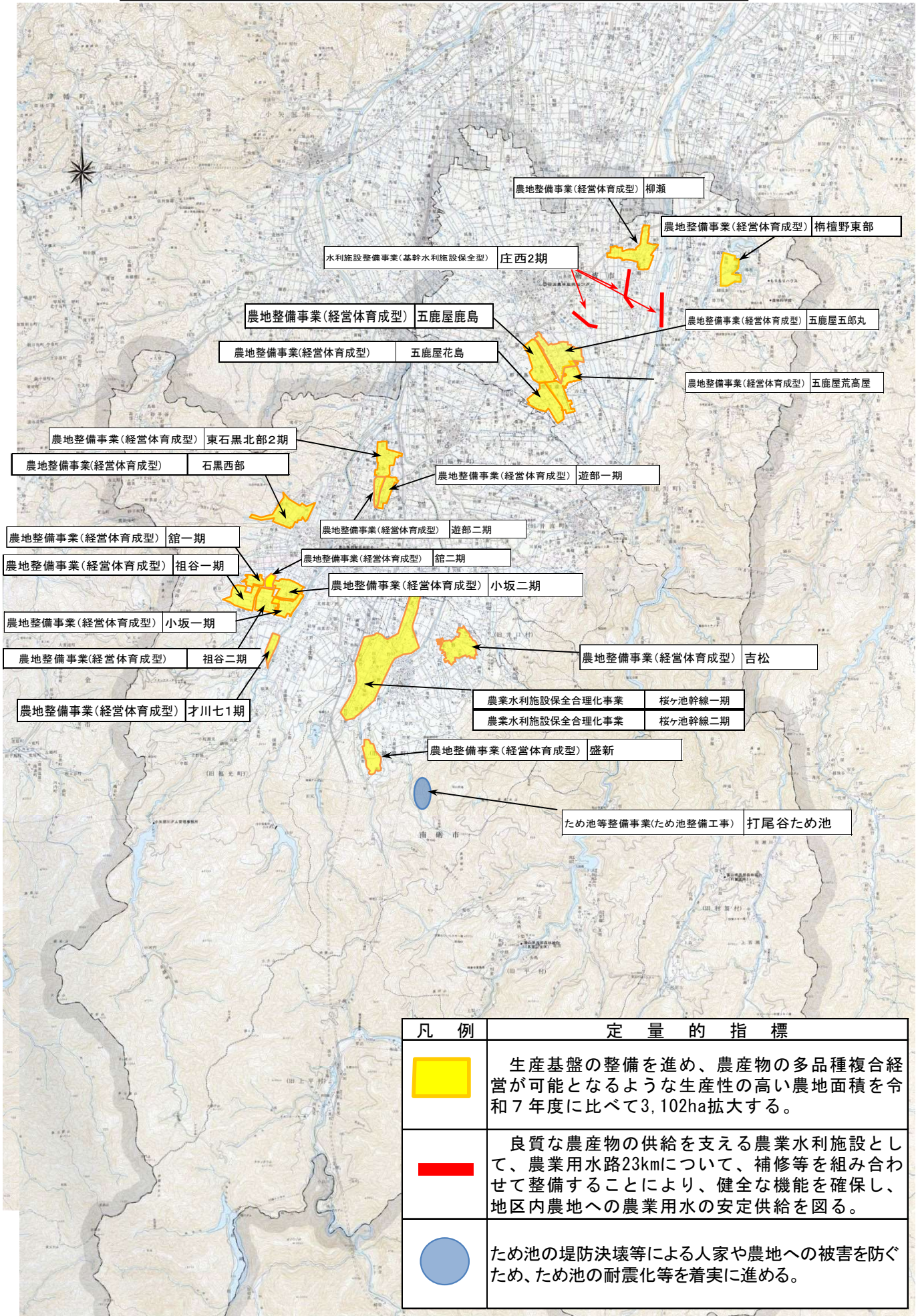
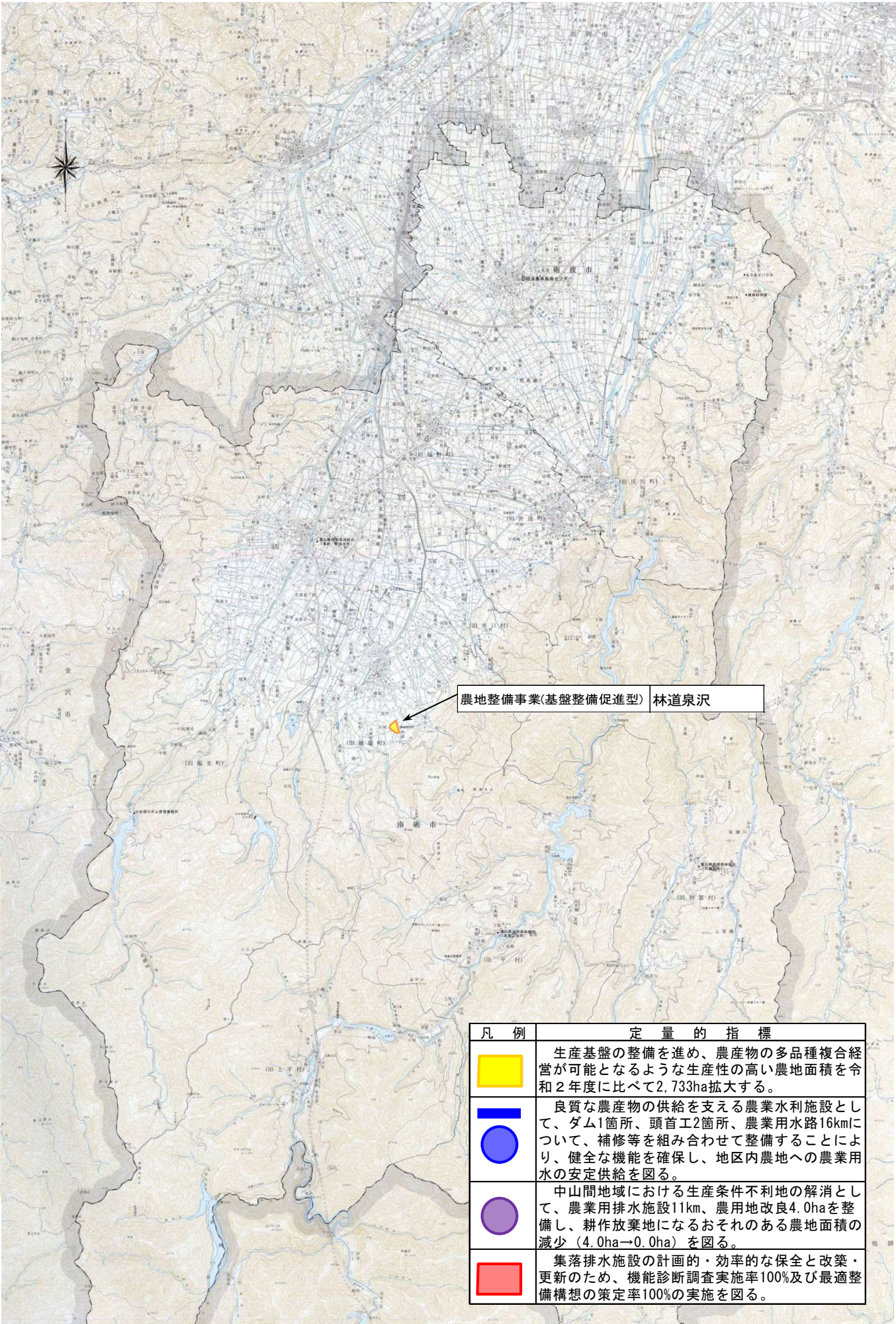


農山漁村地域整備計画図(砺波ブロック、県営)







凡 例	定 量 的 指 標
	生産基盤の整備を進め、農産物の多品種複合経営が可能となるような生産性の高い農地面積を令和7年度に比べて3,102ha拡大する。
	良質な農産物の供給を支える農業水利施設として、農業用水路23kmについて、補修等を組み合わせて整備することにより、健全な機能を確保し、地区内農地への農業用水の安定供給を図る。
	ため池の堤防決壊等による人家や農地への被害を防ぐため、ため池の耐震化等を着実に進める。

農山漁村地域整備計画図(砺波ブロック、団体営)



農地整備事業(基盤整備促進型) 林道泉沢

凡例	定量的指標
	生産基盤の整備を進め、農産物の多品種複合経営が可能となるような生産性の高い農地面積を令和2年度に比べて2,733ha拡大する。
	良質な農産物の供給を支える農業水利施設として、ダム1箇所、頭首工2箇所、農業用水路16kmについて、補修等を組み合わせて整備することにより、健全な機能を確保し、地区内農地への農業用水の安定供給を図る。
	中山間地域における生産条件不利地の解消として、農業用排水施設11km、農用地改良4.0haを整備し、耕作放棄地になるおそれのある農地面積の減少(4.0ha→0.0ha)を図る。
	集落排水施設の計画的・効率的な保全と改築・更新のため、機能診断調査実施率100%及び最適整備構想の策定率100%の実施を図る。